

東葛モラルアップ通信・令和7年5月号



チーム東葛飾、子どもたちの未来のために～育成と共創～

東葛飾教育事務所・モラルアップ推進会議

■年間テーマ: 第三者の気づく力を育てる

○不祥事の芽に気づく力を育てる

◎お互いの良い所等の他者のプラス面に気づく力を育てる

「第三者の気づく力」とは？

○不祥事の芽に気づく力

→不祥事根絶

◎お互いの良い所に気づく力

→より良い職場環境 士気向上

1 令和6年度の不祥事について

令和6年度の懲戒処分件数は、引き続き高止まりの傾向。不祥事の芽に気づく力が必要！！

(1) 処分事案（監督責任を除く）

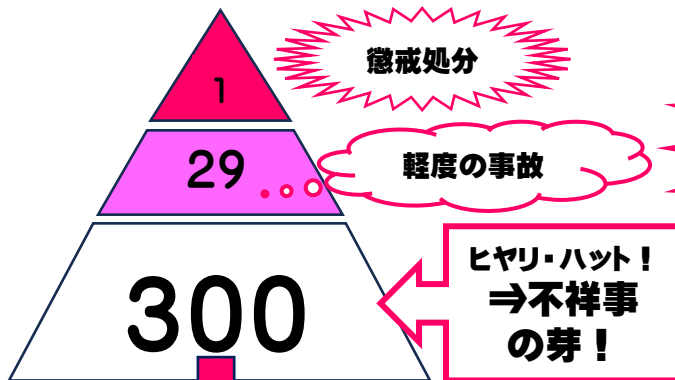
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
わいせつ セクハラ	14	6	12	16	9(5)
交通	2	2	2	6	3(2)
体罰	0	0	2	3	2(1)
個人情報	0	0	0	0	0
その他	8	8	7	14	10(4)
計	24	16	23	39	24(12)

(2) 年代別懲戒処分の状況 ※（）内公立小中

	20代	30代	40代	50代 以上	合計
免職	7	2			9(6)
停職	1	1	1		3(3)
減給	1	4	1	3	9(3)
戒告		1	1	1	3
計	9	8	3	4	24(12)

(3) 不祥事の芽は！？

ハインリッヒの法則に当てはめて考えてみると…



1校あたり
3～4件の
不祥事の芽！

令和6年度千葉県公立小中学校の懲戒処分 = 12件

12件 × 300 = 3600件 ⇒ 不祥事の芽！

3600件 ÷ 約1100校（千葉県公立小中学校） = **3.27件**

2 懲戒の処分の指針の改正（①令和6年11月14日～ ②令和7年4月1日～）

① 飲酒運転について

★ 飲酒運転をした職員は**免職**とする

★ 自転車、電動キックボード等を含む

全ての車両の運転に該当する

② 監督責任について

★ 管理監督者としての指導監督を怠った

職員は、**停職**、減給又は戒告とする。

3 自分を振り返るとともに、第三者としての気づく力を高めましょう。

NO	項 目	☒
1	児童生徒に対し、SNS等で私的なやりとりをしている同僚を知っている。(聞いたことがある)	☐ はい ☐ いいえ
2	児童生徒への指導の際に組織的な指導ではなく「密室で・単独で」行っている同僚がいる。	☐ はい ☐ いいえ
3	児童生徒に対する指導上不必要な身体接触(首、胸、腰、臀部、大腿部等を触る。〈衣服の上からの身体接触を含む〉、抱きしめる、手を握る、膝に乗せる等)が気になる同僚がいる。	☐ はい ☐ いいえ
4	同僚が私物のスマートフォンやタブレット、PC、デジタルカメラ等で児童生徒を撮影したり、(許可なく)校務で使用したりしている場面を見かける。	☐ はい ☐ いいえ
5	生徒指導や部活動等の中で、思ったような指導の効果がでないとき、児童生徒が悪いとは考えず、自分の指導の在り方を振り返るようにしている。	☐ はい ☐ いいえ
6	教職員にとっては日常的な声掛けや指導であっても、児童生徒の個々の状況によって受け止め方が異なる事や、全体への過度な叱責等に対して、児童生徒が圧力と感ずる場合があることがあることを理解している。	☐ はい ☐ いいえ
7	上記項目について、児童生徒に対する指導や接し方が不適切だと感じた際に、すぐに止めたり、他の職員や管理職に相談・報告したりすることができる。	☐ はい ☐ いいえ

4 共創しました

共創とは

複数の人や組織が協力し合い、新たな価値や成果を創り出す営みのこと

R7.5.1に聖徳大学で開催された管内副校長・教頭

会議では「不祥事を出させないための手立て」について、副校長・教頭先生方で考えました。その中で「**不祥事の芽を成長させない土壌(職場環境)づくり**」についても話し合いました。

そのためには「**風通しのよい職場**」「**コミュニケーション**」「**褒める**」「**人間関係作り**」等が必要であると、積極的に意見を共有することができました。



5 「教職員間の人間関係作り」「モラールアップ」のために ※別添資料使用

♪同僚へ「**あなたの素敵なところ**」「**応援メッセージ**」を作成しましょう♪

(1)手順

- ①近くの同僚と3～4人のグループを作る。
- ②メッセージカード上部に自分の名前を記入する。
- ③メッセージカードを時計回りに隣の人へ渡す。
- ④2～3分程度でメッセージを書く。
- ⑤③と④を繰り返す。
- ⑥同僚に書いてもらったメッセージを受け取る。

(2)振り返り

- ①じっくりとメッセージを読む。
- ②メッセージを読んだ感想を発表する。



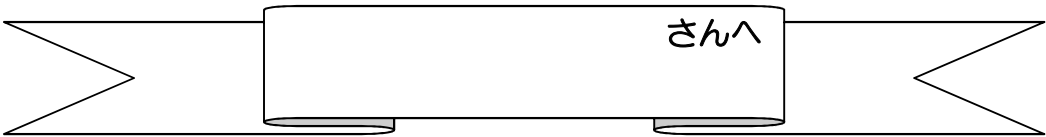
別添資料

さんへ

()より

()より

()より



() より

() より

() より